

お祈りは
済んだあ？

私の事は
気にしないで
ユリナの
可愛い姿
もつと
見せてえ♥

もう貴女の
いいようには
なりません…！

いい加減
姉の身体から
出て行って…！

すつと
見て…！？

な…

そんな事
言いながら

もうこんなに
トロトロに
して♥

ひあつ

私の名前を呼んで
自分を慰めていた
わよねえ？

貴女を見てると
全然飽きないわ♥

何故
私達姉妹に
そこまで
執着するの…？

私の無様な姿
なんて散々
見たでしょう…！
これ以上
姉さんの姿で
弄ばないで…っ

そういえば…
まだ話して
いなかった
わねえ♥

貴女は
認めないけれど
私は紛れもなく
ローザ本人よ

ただしあの夜…
『人』としての
私は消えた

『悪魔の力を
受け入れる』
と言って

悪魔は
陵辱の限りを
尽くしてきた

私の乳首を弄び
膣内をこね回し…

私はユリナの
ことだけを想って
耐え続けた

そして私は
悪魔の力を
手に入れた…

貴女と
幸せになる力を
手に入れたのよ♥

悪魔の身体と
共にね

!?



な…
本当に…
姉さん
なの？

そう…
私は最初から
ずっと
貴女の愛する
ローザ姉さん
ずっと変わらず
私のまま♥

姉さんは
悪魔の力に
魅入られて
気持ちえを
捻じ曲げられて
いるだけ…！

まだ神は
お許しに
なるはずです！

そう…
貴女はどこまでも
『シスター』
なのね…

私が負ければ
この力を捨て
罰でもなんでも
受けましょう

いいわなら
悪魔の力を賭けて
勝負しましょう

貴女の信仰
たつぷりと
見せてもらおう♥

どちらが先に
絶頂を迎えるか
勝負しましょう♥

…っ
わかり
ましたっ

その勝負
受けて
立ちます…っ







貴女はコレに
屈し続けて
きたわよねえ♥

ふふ…
どうかしら？
貴女を辱めた
肉棒よ♥



まさか
これを…
こんな…
作り物に
負けたりは…！



ここれは…
男性の…！？



これを挿入すれば
まるでおちんぼが
生えているような
感覚を味わえるの

しかも
魔力紋を通じて
お互いの感覚を
共有できる♥

どれだけ
気持ちいいか…
想像できる
かしら？



そんな事
言っていられる
かしら？

このデイルドは
私達の魔力から
生成したもの
つまり
私達二人の
おちんぼみたくい
ものってコト♥





はあ…♡
はあ…♡
どうかしら…♡
ついに私達
繋がっちゃった♡
初めてなのに
気持ちいいの
だけしか
入ってこない♡

ああ♡
姉さん♡

相性ピッタリの
ユリナのおちんぽ
さいこ♡

ユリナは
どう…？

んお…♡ ななに…♡ これ…♡

あらあら♡
お返事できない位
気持ちよさそう♡

お姉ちゃんのおちんぽで
こんなに感じ
ちゃうなんて
嬉しいわ♡





気を
散らしちゃ
ダメ♥
ちゃんと
エツチに
集中よ♥
はああ♥
おちんぽと
おまんこが絡んで
とっても
気持ちいい♥

ほお、

ダメっ
そんなに激しく
んああっ♥



魔力紋によって
拡張された感覚で
より貴女を
理解できちゃう♥

おまんこの形も
どこで感じるかも
どんな風におちんぽを
包み込むかも♥



味わった事のない
感覚が…♥
襲ってくる…う♥

んおおっ♥

頭が
痺れて♥

い祈る
事すらっ♥
できない♥

あはあっ♡
お祈りなんて
やめちゃえ♡

おちんぽ快樂
いっぱい楽しみ
ましょう♡

でも
今は勝負
だから♡
一気に
イクわよ♡

一番
深い所
までっ♡

一気に
ねじ込むっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡

おまんこの奥
突かれながらっ♡

姉さんの
膣奥を突く感覚も
流れ込んできてえ♡

姉さんの
おちんぽっ♡
感じすぎ
ちゃうっ♡

あっ♡
あっ♡
あっ♡



大口叩いていた
割には
もうお祈りは
終わりの？
それなら…
我慢は
もう終わり♡

もうイク所まで
イってしまひ
ましよう♡



初めての
エッチで
腫奥突かれて
予想外に
気持ちよかったの
かしら？

もう
トロトロ
じゃない♡



はああ♡
姉さん♡

お互いの肌を
直に感じながら
同時に
絶頂するの♡

まだ
神に祈る余裕が
あるのかしらあ？

仕方の
ない子ねえ♥

それならあ♥

もつともつと
お姉ちゃんとの
愛の行為に
のめり込ませて
あげる♥

貴女が
神様にばかり
夢中だからあ
今までじっくり
開発調教した
このお尻の穴♥
一緒に可愛がって
あげるわ♥

そうすれば
私との行為に
もつと本気に
なってくれる
でしょう♥

お尻の穴っ

肛げちゃっ♥

な何…っ
足
引っ張られて…っ
今度は何を
する気…!?

はあめ!?



入口はキュッと
締め付けつつ
腸内は柔らかくて
トロットロ♡

んぐっ♡
いいれながら…
なんてっ♡

お尻っ♡
おほおおっ♡

神様にすぎる
フリをしても
こういう事を
期待してたのね♡

んぐっ♡
んぐっ♡



うふふっ♡

そんな
素直に
なれない
子には…♡

深く激しく♡
神に祈る事も
忘れる程に♡

徹底的に
ブチ犯して
あげるからあ♡

前と後ろ♡
同時に
激しくっ♡

おっ♡
おっ♡

おっ♡
おっ♡



へっ♡
あ♡

ふああっ♡
おお尻♡
ゆびい♡

んほ♡

お腹の内側で
ゴリゴリっ
てええ♡

うああっ♡
更に
激しくうう♡

もう
ダメえ♡

あ♡

いっほ♡
いっほ♡
いっほ♡

キュン♡

や♡

もう♡



愛し合うって
お互いに愛を
与える事
だものね♡

うれしい♡
うれしい♡

でも私も
もう限界い♡

ん♡
あ♡



ああ♡
素敵よ♡
ユリナ♡
お姉ちゃんも
気持ちよく
してくれるのね♡

あ

なつこ

まっすう

いーる~



お尻の中っ
おちんぽ
入っでえ♡

姉さんの
おちんぽで
おまんこごころか
お尻までえっ♡

今までも
凄かったのにっ

姉さんのっ♡
一番
気持ちいいっ♡

子宮っ♡

私のいい所っ♡
的確にっ♡

姉さんっ
まってえ

そこっ
ごりごり
しないれえっ♡



だってっ♡
ユリナが
かわいすぎる
からあ♡
もっともっ♡
ユリナのえっちな姿
引き出したく
なっちやうのお♡

諦めちゃっ♡
だめ
だけどおっ♡

お尻
えっちっ♡
おすぎ
てえっ♡



愛する
お姉ちゃんに
弱い部分を
徹底的に
犯される
貴女の顔を♡

もっと
ユリナの可愛い
顔を見せてえ♡

ひぁあ

ガマン
できない♡

や…あつ♡
ダメですっ♡
顔見ちゃっ♡

ほっ♡

ほっ♡
あぁ♡
ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡



もう男には
シコらせない♡

この可愛い
シコられ
デカパイも♡
もっとよく
見せて♡

私だけの
ものお♡

うぁあつ♡
姉さんっ♡
おっぱいまたあ♡

この
引つ込み思案な
乳首ちゃんも♡

ひにやああつ♡
ちくひっ♡
んおあおつ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡



んもお
感じすぎいい♡

ユリナだけ
こんなに
しちゃうのは

さすがに
不公平かしら♡

私も...

ん♡

お尻に触手
...んうつつ♡



あああ♡
前も後ろも
犯されながら

妹を犯す
近親相姦♡

気持ち良すぎて
幸せすぎて♡
頭おかしく
なっちゃううつつ♡

ユリナ♡
ユリナ♡

素敵よ
ユリナあ♡
こんなに淫らに
私を感じて
くれているのね♡



もつと…
もつと近くで♥
ユリナを
感じたいっ♥

ああつ♥
腸奥まで
トロっトロお♥
さすが
何本ものちんぽを
咥えてきたユリナの
お尻のあ♥な

でもお
これからは
毎日犯し続けて
私だけの穴に
してあげる
からあつ♥

貴女の
一番奥
までえっ♥



私の精液で
全部上塗り
してあげるっ♥

姉さんをつ♥
助けなきゃっ♥
今が最後のっ♥
本当に最後の
機会なのにつ♥

気持ち

よすぎてっ♥

何も考え

られなくてえっ♥



ああ♥嬉しい♥
ユリナ♥
ユリナ♥
ユリナ♥

ん♥

れ♥

は♥

ん♥

姉さんとの
行為を♥

もう

拒む事
なんてえ♥



姉♥

は♥

ユリナ♥
お願い♥
ぎゅ♥

私の愛♥
全部
受け止めて♥



私の愛を
受け入れて
くれたこと
魔力紋を通して
伝わってくる♥

ん♥

ん♥



ん♥

は♥

ん♥
姉さん♥

もっと♥
もっと♥



エ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

また

射青るっ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ



さあ…
もう意地を
張らなくても
いいの♡

お姉ちゃんに
全てを委ねて♡

もう
何も考えなくて
いいの♡

神も血も性もない
私達の間には
愛と快樂だけ♡



ああ…
姉さんに
包まれていく…♡

まるで私の
本来あるべき
居場所のような
心地よさ…♡

私達を
縛るものは
もう何もない♡

私達だけの
時間を心ゆくまで
愉しみましょう♡

んああ♡
きもちいの
またあ♡

姉さん♡
きもちいの
もつと
くださあい♡

そこのみち
この快樂に逆らえないなら…
いっそ溺れて…♡

END